

# 久留米大学 バイオ統計センター 公開セミナー

対面形式  
&  
WEB(LIVE)  
配信

**下村 一景** (久留米大学大学院 医学研究科 博士課程4年)

**「Impact of Corticosteroids for IrAEs on the Clinical Outcome of Immunotherapy in Patients With NSCLC**

**–時間依存性共変量とランドマーク解析を用いて–**

ICI (immune checkpoint inhibitor)によるirAE (immune-related adverse event)の早期発現は正の治療効果予測因子であることが知られているが、irAE治療に用いられるステロイドは、ICI治療開始時使用の場合、負の治療効果予測因子であることが知られている。本研究はirAE発現に対するステロイド治療がICIによる治療効果へどのような影響を与えるのかを検証した。ICI単剤療法が実施された非小細胞肺癌の患者を対象とし、irAE発現とステロイド使用量別に4群に分けて解析を行った。解析は時間依存性共変量を用いたCox比例ハザードモデルを使用し、ランドマーク解析も併せて行った。ICI治療開始60日以内の解析では、高用量ステロイド使用群とirAE非発現群は、irAE発現かつステロイド非使用群と比べて有意に全生存期間のHRが高く、60日以降の解析では4群のHRで有意差は認められなかった。本研究結果は、ICIによるirAEを適切にマネジメントする上で、有益な情報であると考えられる。

**2022年12月14日(水) 18:00~19:00**

**久留米大学バイオ統計センター【コンピュータ室】**

福岡県久留米市旭町67番地

申込方法

下記URLまたはQRコードより、前日10:00までにお申込みください。

<https://biostat-kurume.stores.jp/>



お問い合わせ

久留米大学バイオ統計センター公開セミナー係

✉ [biostat\\_seminar@med.Kurume-u.ac.jp](mailto:biostat_seminar@med.Kurume-u.ac.jp)